

2025.5



エンヤマツツジ(町花)

かみのくに

# 第217号 議会だより



## 主 な 内 容

新年度予算決まる

3月定例会で決まったこと

一般会計補正予算など ..... 2P～3P

ここが聞きたい一般質問に7人が登壇 ..... 4P～13P

予算審査特別委員会の主な質疑 ..... 14P～16P

委員会活動

(議会広報発行に関することなど) ..... 17P～18P

議会の動き ..... 18P

上ノ国小学校 入学式

# 第1回 定例会

## 令和7年度予算を決定！！

### 一般会計 72億9,998万円

### 各特別会計 含む予算総額 96億2,271万円

第1回定例会は、3月4日から6日までの3日間、開催されました。

町長から提案された案件は、令和6年度各会計補正予算をはじめ、条例の制定及び一部改正など30件が、いずれも原案のとおり可決されました。

※「令和7年度各会計予算額と予算審査の主な質疑」は14ページから16ページに掲載

## 審議して決まったこと

### 専決処分

■令和6年度一般会計補正予算

町道除排雪業務委託料など9453万7千円を追加し、予算総額は67億3921万3千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

### 専決処分

■犯罪被害者等支援条例

の制定

犯罪被害者等の支援について、地域社会全体で取り組み、住民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するため、犯罪被害者等基本法に基づき、条例を制定するものです。

〈全員賛成で可決〉

■小砂子地区集会施設

置条例の制定

令和7年3月10日に改修工事が完成する小砂子

■町職員の給与に関する条例の改正

令和6年人事院の勧告等により、本年4月1日に施行される国家公務員の人事管理及び給与改正に基づいた改正措置を本町でも実施するため、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■付属機関に関する条例

の改正

文化財ミュージアムの建設に伴う事業内容を審議する町民や学識経験者で構成する「上ノ国町文化財ミュージアム建設委員会」を町の付属機関に位置づけするため、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■町職員の勤務時間及び

休日休暇に関する条例

の改正

■町職員の育児休業等に関する条例の改正

■国民健康保険条例の改正

石崎歯科診療所の廃止に伴い国民健康保険に関する協議会の委員の定数



を変更する必要があるため、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■簡易水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の改正

水道法施行令が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■合併処理浄化槽の管理等に関する条例の改正  
町が整備する合併処理浄化槽の設置に伴い、各家庭等が行う水洗便所等の改造補助に関して、特定環境保全公共下水道及び漁業集落排水区域の補助対象期間との整合性を図るため、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■議会の個人情報保護に関する条例の改正

刑法の改正により、懲役及び禁錮が廃止され、拘禁刑が創設されたこと及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

## 補正予算

### 一般会計

町道除排雪業務委託料3千万円を増額し、予算総額は65億5947万9千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

### 特別会計

#### ◆国民健康保険

一般被保険者診療報酬支払金など5716万6千円を減額し、予算総額は5億8540万1千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

#### ◆介護保険

##### ・介護保険事業勘定

通所型サービス事業業務委託料など136万8千円を減額し、予算総額は8億1873万円となりました。

〈全員賛成で可決〉

#### ◆後期高齢者医療

保険料負担金など386万8千円を減額し、予算総額は8979万3千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

#### ◆簡易水道

##### ・収益的支出

材料費など721万円を減額し、予算総額は1億9159万8千円となりました。

##### ・資本的支出

排水施設整備費など222万4千円を減額し、予算総額は1億5411万3千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

#### ◆下水道

##### ・収益的支出

固定資産除去費など44万5千円を追加し、予算総額は2億7766万7千円となりました。

##### ・資本的支出

処理場整備費など1707万5千円を減額し、予算総額は1億6452万1千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

## その他の

### ■地域活動支援センターの指定管理者の指定

公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の規定に基づき選定された候補者を指定するにあたり、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものです。

○指定管理者

- ・所在地 上ノ国町字大留147番地16
- ・名称 特定非営利活動法人たまみずき北海道

### ○指定期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

### ■町道路線の廃止、認定

町道中崎団地中通り線及び町道中崎団地二号線は、中崎団地建替事業の工事区域内に位置し、この度の公営住宅建替工事に伴い、路線を廃止するとともに、町道中崎団地中通り線の終点を変更し、新たな路線として認定するため、道路法の規定に基づき廃止と認定について、議会の議決を得るものです。

〈全員賛成で可決〉

## 人事

### ■固定資産評価審査委員会委員の任命

令和7年3月25日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に深見聡氏を任命することに同意しました。

〈全員賛成で可決〉

ここが聞きたい

# いっぱん質問

一地域居住等の取り組みと促進について

▼仲澤 義彦 議員

人口減少の抑制や移住・定住促進といった課題の解決につなげたい

▼工藤町長



なかざわ よしひこ 議員  
仲澤 義彦

質問

本町における将来の人口は、30年後の令和32年には1639人となり、「消滅する恐れのあるまちの一つである」と発表されています。

定住や関係人口を拡大させる多様なライフスタイルに応えることで、地域活性化、地方創生及び関係人口の拡大や移住にも繋がる二地域居住等の取り組みを早急に実施すべきと考えますが、町長の所見を伺います。

答弁

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機にリモートワークが普及し、二拠点生活への関心が高まっていますが、拠点となる住まいの確保が不可欠です。

本町においても、国の制度を活用し二拠点生活を視野に入れた空き家対策を進めているところであり、最終的には人口減少の抑制や移住・定住促進といった課題の解決につなげていきたい。

再質問

今までも、サテライトオフィスやちょっと暮らしなど、交流人口の拡大や移住対策をやられてき

たと思うが、これから二地域促進にも力を入れていくと理解してよいか。

佐藤総務課長  
これからは、GXに絡めた移住定住にも力を入れていきたい。

町内に設置されている

風力発電施設などについて

▼小間 均 議員

運営事業者適切な維持管理を求めている

▼工藤町長



こま ひとし 議員  
小間 均

質問

本町には、風力発電施設が多数設置されており、再生エネルギーの一つとして期待されている一方で、小型風力の乱立が目立ち、放置風車も見受けられることから、騒音や景観などにも影響を与えるのではないかと住民から心配する意見もある。

答弁

この現状について、どのような問題・課題があるか認識し、早急な対応が必要であると思うが、具体的な取り組みをしているのか、伺います。

近隣町の中には、小型風力発電施設の乱立や放置を防ぐためにガイドラインを策定している自治体もありますが、法的拘束力がなく悪質な事業者に対して規制を行うことが難しいのが現状で、抜

本的な対策を講じること  
は困難ですが、風車が長  
期間放置されることのな  
いよう、運営事業者に適  
切な維持管理を求めてい  
くことが重要だと考えて

います。そのため、償却  
資産の申告がない運営事  
業者に対しては、面会を  
求めるなどの措置を講  
じ、対応します。

## 旧滝沢小学校の利用方針について

▼小間均 議員

### 施設の閉鎖に向けた検討を進める

▼工藤町長

質問

旧滝沢小学校は、一部  
利用が許可されているも  
の、利用に対する要望  
には応じてもらえない実  
態にあります。

当該施設は、正面入口  
付近でコンクリートが剥  
離し、維持管理などをし  
ている様子も見受けられ  
ず、利活用に向けた基本  
的な考えや具体的な計画  
があるのか、地区住民に  
対して説明があっても良  
いのではないか。

答弁

町内会からの利用に対  
して個別に対応しながら  
維持管理を行ってたが、  
塩害による鉄筋の腐食が  
進行したため、コンクリ  
ートの剥離などの問題が  
発生し、管理が非常に厳  
しい状況にあり、利活用  
を進めるには多額の改修  
費用が必要となるため、  
施設の閉鎖に向けた検討  
を進めていく考えです  
が、取り壊しにも多額の  
費用がかかるため慎重に  
検討している。

## 洋上風力発電について

▼福原 賢孝 議員

### 技術者を養成する

### トレーニングセンターの誘致を進めたい

▼工藤町長



ふくはら 賢孝 議員

質問

再生可能エネルギーの  
切り札とされる洋上風力  
発電は、檜山沖を含む有  
望区域で2030年代に  
も本格的に稼働すること  
が見込まれ、5海域での  
合計総出力は、最大38  
5万キロワット規模、総  
事業費は3兆9千億円に  
上り、運転管理や保守点  
検をはじめ、設置工事や  
港湾整備などの業務には  
道内企業に参入の余地が  
あるとみているとのこと  
であります。次につい

て質問します。

①基地港湾は、風車の羽  
根の組立てなどを行う場  
所になり、部品受注とい  
った経済効果も期待でき  
ますが、檜山沖海域での  
洋上風力発電事業の基地  
港湾に関する見解を伺い  
ます。

②漁業振興についてはひ  
やま漁協を中心に、地域  
振興については各自治体  
を中心に作業チームを作  
り、各議論が進められて  
いるのか。

③本格稼働となれば、設  
置工事や港湾整備、風車  
設置後の運転管理や保守  
点検などに不可欠なメン  
テナンス技術者の養成が  
急務と思いますが、見解  
を伺います。

答弁

①基地港湾となるために  
は、建設に利用されるS  
EP船の入港が可能であ  
ること、資機材等の重量  
物を取り扱える地耐力を  
備えていることが求めら  
れ、函館港が該当するも  
のと考えられます。

②地域振興に関しては、  
8町の副町長及び担当課  
長並びに協議会事務局で  
構成される地域検討部会  
において、次回の法定協  
議会に向けて検討が行わ  
れています。また、漁業  
振興に関しては、ひやま  
漁協及び協議会事務局に  
おいて、漁業影響調査の  
考え方等に関する意見交  
換などが行われていると  
伺っています。

③本格稼働により、風車  
の運転後の管理や保守点  
検など、多岐にわたる業  
務が発生し、新たな雇用  
の場が創出されますが、  
全国的にメンテナンス技  
術者が不足しているた



め、その養成が急務であり、技術者の養成が可能となるようトレーニングセンターの誘致を進めます。

#### 再質問

コスト面の上昇が大きな壁となり、洋上風力発電は採算が合わないとして、世界中で撤退が相次ぐとの報道もしばしば目に付くようになってきていますが、見解を伺います。

#### 谷口政策推進室長

円相場が割安になっている感があり、コスト面でも容易になってきているものと思われます。

#### 再々質問

旭川市に北拓という、メンテナンス技術者を養成する施設があり、施設を誘致したいとのことですので、参考にすべきと考えerるがいかか。

#### 谷口政策推進室長

メンテナンスでは、北拓が全国でシェア8割ぐらいを占めてる企業で、メンテナンス事業者を誘

致する選定の中にも、目を付けている部分がありますが、資格を取得するトレーニングセンターも含めて、今後検討したい。

### 北電の陸上風力発電計画について

#### ▼福原 賢孝 議員

影響が懸念される箇所への

建設の可能性は低い

#### ▼工藤町長

#### 質問

①北電が町内宮越・湯ノ岱地区に最大出力18万3千キロワットの陸上風力発電所事業計画を明らかにし、2028年10月に着工し2032年の運転開始予定とのことであり

問に「事業と環境保全の両立が必要である」と町長から答弁をいただいて「ゾーニングマップ等の作成を早急に整備する」とのことであったが、その後の進捗状況について伺います。

#### 答 弁

②環境影響評価で宮越・湯ノ岱地区の住民に騒音やシャドーフリッカーなどの影響はないのか。  
③昨年12月定例会での質

①環境影響評価に関する配慮書の縦覧が行われましたが、現時点では具体的な協議は行われていません。  
②計画段階環境配慮書に

よると、騒音やシャドーフリッカーなどの影響が生ずる可能性があるとして示されていますが、今後の環境影響評価手続きにおいて、配置計画が見直され、影響が懸念される箇

所への建設の可能性は低いものと推測されます。  
③ゾーニングマップ作成に伴う必要経費を新年度予算案に計上。財源は環境省の補助事業の活用を見込んでいます。

### 新しい上ノ国町公共交通体制について

#### ▼福原 賢孝 議員

実証を含めたデマンドバスの運行を

開始できるよう準備を進めている

#### ▼工藤町長

#### 質問

昨年12月定例会での私の質問や提案に対して、町長から「Aーデマンドシステムの導入を検討する」との答弁をいただきましたが、上ノ国町公共交通体制を構築するため、その後の検討作業はどのような進捗状況になっているのか。

#### 答 弁

Aーデマンドシステム

の導入に伴う必要経費を新年度予算案に計上し、関係予算の成立後に公募型プロポーザルを実施し、令和7年度中に実証を含めたデマンドバスの運行を開始できるよう準備を進めています。また、スクールバスについては、この取り組みに先駆けて新学期開始以降、小学生と中学生の混乗による登校便の運行を開始する予定です。

## 市町村人材支援について

▼福原 賢孝 議員

地域活性化起業人制度により、  
空き家対策に取り組んでいる

▼工藤町長

### 質問

内閣府は地方創生に向けて職員が市町村に向き、人口減少対策などを支援する制度を4月から始めると発表しましたが、この制度に対する見解と町はこの制度に応募したのか伺います。

は、各府省庁の本省職員が通常の業務に加え、課題を抱える小規模自治体に寄り添い支援を行う制度となっています。

### 答 弁

地方創生伴走支援制度

本町では現在、専門的な民間のノウハウを活用するため、地域活性化起業人制度により、空き家対策に取り組んでいることから、この制度には応募していません。

## 文化財施設整備について

▼福原 賢孝 議員

令和7年度に建設委員会を設置する

▼上野教育長

### 質問

第6次上ノ国町総合計画で、令和7年度にミュージアム基本計画策定と計画していますが、このミュージアム建設の果た

す役割をどのように考え、基本計画策定作業の進捗状況についても、伺います。

### 答 弁

地域の歴史文化を総合的に保存・活用する機能を持たせつつ、多様な視点と価値観で人と人、人と地域をつなぐ取り組みも重要であると考え、令和7年度に上ノ国町文化財ミュージアム建設委員会を設置し、順次進めたいと考えています。

### 再質問

アイヌの民族の象徴空間のウポポイと南茅部の縄文文化、そして上ノ国の中世の館、そしてミュージアムが出来る歴史に関心がある方々が、北海道に行ったら3つの歴史が学べる地域があるんだというものを根底にしながら、ミュージアムを造っていただきたい。

塚田社会教育担当局長

ウポポイが主催している博物館ネットワーク協議会と情報共有や連携した取り組みを推進しているところですが、今後について

については南茅部で整備が予定されている、縄文遺産の情報発信拠点についても、積極的に連携を図っていきたいと考えています。

## 水道料金の今後の行方及び 下水道配管等の維持管理について

▼川島 忠治 議員

水道料金は慎重な検討が必要  
道路の地盤沈下につながるような異常はない

▼工藤町長

維持が困難であり、抜本的な見直しが必要とされています。

また、埼玉県で発生した道路陥没事故を受けて、次の点について伺います。

### 質問



かわしま ちゅうじ 議員  
川島 忠治

北海道新聞の水道料金値上げの記事によると、

人口減少による収益減少のため、今後20年間で値上げを迫られる可能性がある

あると指摘し、現在の運営方法では、水道事業の

①上ノ国町上水道事業の経営実態について。

②水道料金の値上げが報道され、町としての方向性は。

③国道、道道、町道等の路面下の下水道管の維持

管理の状況について。

#### 答 弁

①②については、簡易水道事業を運営していく上で、水道料金収入と同額以上の他会計補助金等が必要な状況で、すべてを水道料金収入で賄うとした場合には、2倍以上に引き上げる必要が生じます。

将来的な水道料金の値上げも視野に入れざるを得ませんが、慎重な検討が必要であると考えています。

③全管路系統のマンホール点検を数年にわたり実施し、道路の地盤沈下につながるような異常は確認されていません。

#### 再質問

この先3年、5年を考えた場合、現在の水道料金を維持できるのか。それとも、値上げをせざるを得ない状況がやってくるのか。

るのか。

#### 角花水道課長

一般会計から簡易水道事業に繰り入れする金額により、料金体系を維持できていますが、一般会計との兼ね合いもあり、将来的に料金の値上げも考えなければなりません。

#### 正田副町長

簡易水道を維持管理するためには様々な費用がかかりますので、出来るだけ水道料金は値上げしないように考えますが、将来的には検討せざるを得ない。

得ない。

#### 再々質問

下水管の一般的な耐用年数は50年と言われ、町で最も古い下水管は何十年くらい経過しているのか。また、老朽化対策などは大丈夫なのか。

#### 角花水道課長

下水道事業は、平成14年度に供用開始され約23年が経過し、耐用年数の半分にも満たないことから、維持管理上の点検でも現在のところ異常はない。

### 災害用備蓄品の保存期限問題と

### 段ボールベッドの支給について

▼川島 忠治 議員

### 防災訓練などで参加者へ配布

### 段ボールベッドは避難所へ順次配布

▼工藤町長

された災害備蓄品について、伺います。

町より各町内会に配布

#### 再質問

非常食は、いつ頃配布されるのか。また、簡易ベッドの配布計画について伺います。

#### 佐藤総務課長

食料品は、保存期限を把握していますので、活用が目途がなければ役場の方に戻してもらい、新たなものを配布します。

簡易ベッドは、避難の拠点となるスポーツセンターには、相当の人数分が必要となりますので、ある程度の数を保管してから配布したい。

#### 再々質問

新たな備蓄品の配付はあるのか。

#### 佐藤総務課長

新たな物を町内会に配布する考えはありませんが、お米の保存期限が切れたらお米を再配布します。



## エアコン補助を 住宅リフォーム助成制度に組入れて再復活を

▼川島 忠治 議員

### 補助制度の要件が異なるため難しい

▼工藤町長

#### 質問

昨年4月から全国、北海道でも初めてエアコン設置補助事業をスタートさせ、町民から大変喜ばれている事業ですが、町民から家の補修工事を考えているが、物価高や工事費も高く、住宅リフォーム助成制度の復活を求める声が寄せられていますので、所見を伺います。

#### 答 弁

住宅リフォーム助成制度は、申請件数や全体の工事費が減少し、一定の役割を果たしたと判断し終了しましたが、エアコン補助に組み込むことは、補助制度の要件が異なるため難しいものと考

えています。

一方、エアコン購入費補助金交付制度は、全世帯の約4分の1に相当する多くの家庭で有効に活用され、引き続き積極的に活用していただきたい。

#### 再質問

一定の役割を果たしたとは、町民からの要望の見込みがなく、予算の目途が立たないと判断されたのか。

#### 濱塚施設課長

住宅リフォーム制度は、申請件数と1件あたりの工事費が縮小していたことにより、一定の役割を果たしたものと判

断しましたが、新しくエアコン補助ができたことから、そちらに力を注ぎたい。

また再度、復活して欲しいとの要望や意見が多くなった場合には、有効な施策だと思えますので、検討します。

#### 再々質問

以前より全体の補助額が少なくなってもいいから、住宅リフォーム助成制度を復活する見込みはないのか。

#### 濱塚施設課長

多くの要望があった場合には、取組むことは考えていますが、今はエアコン補助に力を注ぎたいと考えています。

## 非核平和宣言を形として見える場所に掲示を

▼川島 忠治 議員

### 役場庁舎内に掲示を検討

▼工藤町長

#### 質問

昨年、「上ノ国町非核平和の町宣言」が行われ、平和を願うシンボルを、役場などに掲示すること

で、「非核平和の町宣言」の重要性がより浸透していくことが期待されると思いますが、所見をお伺います。

#### 再質問

庁舎内に掲示するにあたり、町民からの意見や要望なども取り入れていただきたい。

#### 佐藤総務課長

今、考えているのは、庁舎の玄関先に小型の垂れ幕みたいなもので宣言するような形を考えています。

#### 答 弁

地域住民が非核平和について考えるきっかけとなり、次世代に向けて平和の大切さを伝える取り組みとしても有意義であると認識しており、役場庁舎内において、何らかの方法で「非核平和を宣言した町」であることを示す掲示を検討したい。

議会を傍聴してみませんか？

☆次回の定例会は6月です☆

手続きは簡単！傍聴者名簿に住所と氏名を記入だけです。



## 上水道の水質について

▼片石 鉄彦 議員

基準に基づき毎月実施

▼工藤町長



かたいし 片石 てつひこ 鉄彦 議員

### 質問

近年水道水での人体に有害な物質含有が問題になり、過去4年間で全国の14か所で有機フッ素化合物のPFAS（ピーフアス）が、有害とされる目標値を超えたとの報道がされましたが、本町の水質および検査体制はどのようなになっているのか。

### 答弁

町内の水源付近には、PFASを排出する施設は存在せず、また昨年11

また、その他の有害物質等についても検査はどういう状況になっているのか。

角花水道課長

水源は基本的には山の奥にあり、風力発電施設は建設されていません。その他の物質については、工業物質についても検査を行っています。異常は無いと報告を受けています。

### 再々質問

PFAS以外の検査の頻度はどういう状況になっているのか。

角花水道課長

水質基準に関する省令

に従い、省略できる物質の検査も決まっています。年1回必ず検査をしなければならぬ物質が51項目あり、一般細菌や大腸菌などは月1回実施しています。

## 介護人材の育成のための補助制度の制定について

▼片石 鉄彦 議員

再就職しやすい環境づくりに取り組む

▼工藤町長

### 質問

介護人材の不足により、施設の運営に支障をきたしているところもあり、かみのくに荘でも、介護職員の高齢化での退職により、介護人材の確保が喫緊の課題だといわれています。

介護人材の確保のために、介護福祉関係の学校へ進学する人たちへの補助制度を創ってはいかがか。

### 答弁

人材不足の影響は事業所だけではなく、介護職を養成する大学や専門学校にも及んでいて、近隣市の当該専門学校では学生数の確保が困難とな

り、閉校に至った事例もあります。このような現状を踏まえると、人材育成のための補助制度を創設しても十分な効果を期待することは難しいことから、その導入は考えていません。

また、人材不足の要因としては、離職による影響も大きく、介護職員ができるだけ離職しないような環境づくりや、離職した潜在介護職員が再就職しやすい環境づくりに取り組んでいます。

### 再質問

介護施設学校などを卒業し、町内の介護事業所に就職する方に対し奨学金の返済分や、それに相

当する奨励金を支給などして人材の確保をしてはいかか。

老後も安心して暮らせる町をつくるため、町は人材確保のために積極的に関与すべきだと思えます。

上ノ国高校の卒業生の就職先を見ますと、町外の介護事業所へ就職する方がいますが、積極的に関わりを持ち、人材を確保すべきでは。

#### 畑山保健福祉課長

管内の高校を卒業後、介護福祉学校に進学するケースは1件あるのかという現状でした。

離職した潜在介護職員を確保するという点では、労働環境による部分

も大きいので、事業所も職員を雇うだけではなく、長く勤めてもらう部分も専門の講師を呼んで取り組んでいます。

10年前は介護の施設に

入るのに待機者が多く、なかなか入りづらいイメージだと思いますが、要介護認定者数が減っている現状から、施設の方には入りやすくなっていますが、医療の方とも連携を取り、町民が老後安心して暮らせるような体制づくりの維持に努めていきたい。

#### 再々質問

人材確保については、施設の方ともしっかりと関わりを持ち、特に上ノ国高校については、町で支援している学校ですので、介護事業所へ就職希望のあった方には関わりを持ち、積極的に人材を確保するような方策を考えていただきたい。

#### 畑山保健福祉課長

上ノ国高校に関しても改めて考えさせられ、介護が受けられる状況が停滞しないように、介護を

必要とする人と提供する側のバランスも十分に考

慮して考えていきたい。

### 花沢公園のパブリックコメントの集計結果は

#### ▼岩田 靖 議員

### より良い公園整備に向けて検討を進める

#### ▼工藤町長

心に伝えます。

回答者の年齢層は、「19歳以下」が80件で最も多い。

公園を訪れる頻度については、「年2回から3回」が21件で最多となりましたが、一方で「あまり利用しない」と回答された方が101件。

公園の利用目的については、「遊び・子どもの遊びの付き添い」が90件で最多。

公園に期待する役割については、「子どもの遊び場」としての役割を期待する意見が137件で最多。

充実させた方がよい施



岩田 靖 議員

#### 質問

花沢公園再整備計画に関するパブリックコメントの募集が行われ、寄せられた意見はどのような内容になっているのか。

#### 答弁

全体の回答数は165件でした。各項目について、回答が多かった意見を中

設については、「小中学生用の遊具」との意見が130件で最も多い。

自由回答の主なものとして、「遊具の充実を望むもの」が27件、「公園の再整備自体に期待するもの」が21件、「懸念点を指摘するもの」が20件となっています。

今回の結果を踏まえ、企画立案検討委員会において整備内容を整理し、基本計画を策定する予定となっており、寄せられた貴重なご意見を大切にしながら、より良い公園整備に向けて検討を進めます。

#### 再質問

私が資料を持って保育所や小学校を回り先生方に説明した中で、募集していることを知らなかったや、募集期間が短いという意見が多かったが、パブリックコメントを行う上で、どのような周知



の仕方をしたのか詳しく聞かせていただきたい。

#### 濱塚施設課長

周知の仕方については、広報やホームページに載せ、小学校や中学校に声を掛けたり、町内会にも周知した結果165件という、今までこれだけの意見が集まったパブリックコメントはなかったと思いますので、周知としては十分だったと考えています。

#### 再々質問

公園を整備していく上で意見があまり出なくて整備するというのに、私自身も懸念しています、意見を聞きに行ったりする努力は個人的にはさせていただきたいと思いますが、パブリックコメントの募集期間も終わり、公園の方向性を説明する機会があるのか。また、他の意見を聞く機

会があるのか伺います。

#### 濱塚施設課長

パブリックコメントの意見を取り入れ検討委員会の場で協議し、その結果を公表したいと考えています。

また、公表した中で意見が出てくると思います

#### 空き家対策について

#### ▼花田 英一 議員

#### 所有者の意向を確認しながら進めたい

#### ▼工藤町長



はな だ 英一 議員

#### 質問

町では、空き家対策として地域活性化起業人制度を活用し、空き家の有効活用に取り組んでいくため、専門の職員を配置

が、岩田議員のように回って歩いていろいろな意見を聞いてくれるのであれば、来年度は詳細な設計を行うことになりそうです、多少の修正は出来るものと思っていますので、最終的な計画を策定したいと考えています。

#### 答弁

して活動していると思いますが、現在の取り組み状況について、伺います。

空き家の有効活用に向けて、空き家情報の収集に努めるとともに、本町の遊休不動産マップをインターネット上に作成し、町職員との情報共有を図っています。

#### 再質問

また、その活動が新聞記事などで紹介され、数件の問い合わせがあり、その中の一件では、売却や賃貸又は解体などの選択肢について所有者の意向を確認しながら、専門的な知見でアドバイスを行い、今後の計画やスケジュールを提案しながら対応を進めています。

その所有者は、空き家を売って欲しいとか、何かに活用して欲しいなどの要望はあるのか

#### 佐藤総務課長

所有者は売買したいと考えているそうで、農地も付随していることから農地の処理方法についてアドバイスを行い、不動産の専門的な方なので、不動産の価格を算定した上で、この金額で売買してはどうかと提案し進めている状況です。

## 「ナチュラル・ビズ・スタイル」実施 (年間を通した働きやすい服装)

脱炭素社会の実現に向けて、環境に配慮した取り組みの一環として、気象状況や執務環境等に応じ、**通年でノーネクタイ等の快適で働きやすい服装で会議等（本会議、委員会など）に出席するナチュラル・ビズ・スタイルを実施します。**



## 再々質問

空き家を売買したい方がたくさんいた場合、町として公表する予定はあるのか。

また、洋上風力が事業化して、町が空き家を買上げ作業員の宿泊施設にする考えはあるか。

## 佐藤総務課長

情報の公開については、空き家を売りたい、貸したい人に情報を公開する意向があれば、空き家登録などとして公表する方法があると思いますが、所有者の意向に沿ったやり方で進めたい。

作業員の宿泊などを見

込んだ空き家対策については、買い上げは考えていません。所有者が賃貸をしたい場合は、国の補助制度を活用しながら空き家を整備し、洋上風力の建設から維持管理に至るまで、作業員が多数町内に入ってくると思いま

すので、そのような形で

進めたい。

## 移住・定住について

▼花田 英一 議員

## 空き家対策と連携し、

## 移住・定住支援に取り組みたい

▼工藤町長

## 質問

人口減少に伴い、全国の各自治体で移住・定住の施策が実施されていますが、上ノ国町においても同様の取り組みが進められています。そこで、昨年の取り組み状況と成果について、伺います。

## 答 弁

本町では、移住・定住につながる継続的な施策を進めています。

ソフト面では、子育て世帯への支援として、18歳以下の医療費無償化などを実施し、経済的な負担軽減に努めています。ハード面では、子ども

支援センターを建設し、放課後児童クラブの対象学年を小学6年生まで拡大するなど、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めています。加えて、定住や交流人口の拡大を図るため、移住体験住宅を整備するなど、都市圏からの移住希望者の掘り起こしを行い、移住関連雑誌等を活用した情報発信を行っています。

特に、2拠点生活の希望者や洋上風力発電施設の建設に伴う従業員の住居等を確保する必要があることを見据え、空き家対策と連携し、移住・定住支援に取り組みたい。

## 再質問

湯ノ岱のサテライトオフィスには、都会からたくさんの方が来て活用している状況ですが、上ノ国町をPRするような活動をしていますか。

## 谷口政策推進室長

近年、サテライトオフィスの利用者は、工事関係者の宿泊が主になっている現状で、工事関係者に移住定住のPRはしづらい面があります。

今後は、洋上風力絡みの関係人口を考えると、サテライトオフィスを仮の事務所などに使えるようなPRは引き続き行い、移住定住の部分では空き家を有効活用し、定住に繋がる取り組みを今後より一層進めたい。

## 再々質問

昨日、湯ノ岱のワイナリーで、若い人方が上ノ国のワインを飲んで美味

しいよと言っているテレビを見ましたが、ワイナリーも含めたサテライトオフィスは、風車の従業員が泊まっているというだけの話ではなく、何かの手立てをしても移住定住するような状況にはならないものですから、私たち議員もPRを含めて活動しなければなりません。特に行政側も一生懸命やっていた方がいい。

## 谷口政策推進室長

昨日の取り組みは、テレビ局がワイナリーのPRの一環で協力していたきました。

インフルエンサーがSNSやインターネットを使って情報発信をすることで、今の移住定住に繋がるような取り組みをしていきたいと思います。

# 予算審査特別委員会

## 令和7年度各会計予算額

(単位：千円)

会 計 名	令和7年度当初	令和6年度当初	比 較
一 般 会 計	7,299,977	6,405,505	894,472
国民健康保険事業特別会計	629,753	637,922	△8,169
介護保険事業特別会計 介護保険事業勘定 介護サービス事業勘定	766,957 6,120	761,343 6,000	5,614 120
後期高齢者医療事業特別会計	92,734	88,959	3,775
簡易水道事業会計			
収益的支出	175,539	197,749	△22,210
資本的支出	150,740	156,337	△5,597
下水道事業会計			
収益的支出	286,991	277,423	9,568
資本的支出	213,903	176,096	37,807
合 計	9,622,714	8,707,334	915,380

令和7年度一般会計及び特別会計の予算案は、第1回定例会の会期中に設置された「予算審査特別委員会（花田英一委員長）」に付託され、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。



## 予算審査の主な質疑

### 一般会計歳出の質疑

#### 財産管理費

町内会集会所施設整備事業

#### ○川島委員

大崎地区集会所施設は築50年ぐらいいが経過し、冬場は水道管の水落で非常に苦労してるとのことです。

今回の設計業務委託の中には、配管などの工事も含まれているのか。

#### ●太田垣施設課統括主幹

実施設計は4月から発注し、工事範囲は屋根、外観、一部内装、配管も含まれ、実施設計を基に9月頃に工事の発注を行う予定です。

#### ●高谷総務課統括主幹

15名程度で構成され商工、観光、建設協会等の会長、教育委員、住民代表ということで数名と、北海道新聞社やJTBに参加していただいています。

#### 企画費

デマンドバス運行事業

#### ○川島委員

今年は海岸線も運行されると思いますが、以前の実証実験のときは、大留の複合施設で降り歩いて買い物をして、荷物を持って戻らなくてはならなかったが、改善されているのか。

#### ●菊地政策推進室長補佐

自宅付近から目的地まで届けるような形で計画をしています。実施する事業者と調整していきます。

#### まちづくり対策費

ふるさと寄附金事業

#### ○福原委員

ふるさと納税の品目について、新しい商品を開発しなければならぬと思っていますが、いろいろな意見聴取をして、他の事例を参考にし、日々勉強していると思いますが、その点についての考えは。

#### ●菊地政策推進室長補佐

上ノ国町内の返礼品については、アスパラガスが主力で海産物等も人気ですが、品薄や人出不足もあり伸び悩んでいるところです。

ふるさと納税の制度も変わっていく部分があり、制度に合うような形で返礼品を開発していかねばと考えていますが、

なければなりません。想定では自宅から行きたい所までを計画しています。



外部の方からの意見も参考にしながら、返礼品をどんどん増やしていきたい。

#### まちづくり対策費

空き家対策事業

#### ○岩田委員

特定空き家の今現在の件数と、特定空き家に認定され、ずっと放置されている空き家に対して、支障物件として町が予算を出して壊すことになるのか。

#### ●八木橋施設課長補佐

認定件数は16件となっていますが、解体までの順序があり、指導、勧告、命令、最終的には代執行という手続きになります。が、現時点では連絡の付く方が多いので、まずは指導、次に勧告といった手順で進んでいこうと考えています。

#### ○小間委員

本人と連絡が取れない

場合、空き家はそのままの状態になるのか。

#### ●八木橋施設課長補佐

固定資産税を支払われている方を調べることが可能となっています。住所までは調べることができます。

#### 賦課徴収費

賦課徴収事務事業

#### ○仲澤委員

コンビニ収納サービスは、どれくらいの利用がありますか。

#### ●杉野財政課長補佐

令和5年度の実績では、町民税、固定資産税、軽自動車税でおよそ4500件ほどの利用状況となっています。

#### ○片石委員

渡島・檜山地方税滞納整理機構に、新年度は何件の滞納者を引き継ぎする予定なのか。

#### ●杉野財政課長補佐

例年どおり2件程度の引き継ぎを考えており、町外に転出し交渉の機会がなく、財産をこちらの方で発見できない方を、選定している状況です。

#### 老人福祉費

老人クラブ連合会助成事業

#### ○小間委員

老人クラブ連合会の補助金は、一人に対していくらの計算なのか。

#### ●畑山保健福祉課長

補助金に関しては、社会福祉協議会が窓口となり、上ノ国町に12の老人クラブがあり、道からも補助が出ます。市町村の負担分と特別事業分などを負担したものを予算計上しています。

#### 児童措置費

児童手当支給事業

#### ○川島委員

児童手当の金額が、昨

年より増えていますが、対象者はどのくらいいるのか。

#### ●松倉住民課統括主幹

令和7年度の対象児童数は316名で、対象年齢が高校生まで拡大され70名ほど増加し、子ども3人目が1万5千円から3万円に増額となり、例年と比較して1.5倍の予算額となっています。

#### 労働諸費

労働対策事業

#### ○仲澤委員

若年者等雇用奨励助成金の目的と、助成を受けて途中退職された人はい

#### 農業振興費

新規導入作物種子・種苗代助成事業

#### ○片石委員

想定しているのはどういう種類の作物ですか。

#### ●石山農林課長補佐

高収益作物と呼ばれる野菜を想定しています。

#### 林業振興費

林業振興事業

#### ○川島委員

森林環境譲与税基金積立金は、今後どのような活用を考えているのか。

#### ●石山農林課長補佐

さまざまな事業に振り分けを予定していますが、例を挙げると豊かな森づくり推進事業や地域林政アドバイザー業務委託料であったり、林道維持管理事業や林業の機械設備導入支援事業補助金などに活用する予定となっています。

**水産業振興費**  
水産物実証実験対策事業

○仲澤委員

新たにサーモン養殖事業を始めようとしてると認識していますが、スケソウやイカ漁が低迷している状況なので、新たに挑戦するのが。

また、漁業者のためになるような大胆な政策を、我々もお互いに知恵を絞りながら真剣に取り組んで、私も微力ながら協力したいと思います。

●薄田水産商工課長補佐

新たな振興と漁業経営の安定化を図るため、サーモン養殖の事業化に向けて実証実験をするための事業です。

○川島委員

サーモンの養殖事業に関して、ひやま漁協などとお互いに経験を積みながら、このサーモンの養殖事業を成功させていた

だきたい。

●竹内水産商工課長

回遊魚の減少や温暖化による海水温の上昇もあり、増殖事業に取り組んでいかなければならないと思いますので、技術的な見知はまだありませんが、ひやま漁協と協力しながら成功させたいと思います。

**水産業振興費**  
沿岸漁業振興特別対策事業

○片石委員

沿岸漁業振興特別対策事業費補助金の内訳について。

●薄田水産商工課長補佐

バカ貝やナマコの放流追跡調査、さけ種苗生産施設運営費に対する補助、てつくい祭りの事業補助、イカ加工業者に対して高騰している加工原料の補助、身入りの悪いウニを採取し深浅移植する事業、

ニシンの放流に関わる事業になっています。

**商工業振興費**  
ワイナリー及びセラライトオフィス事業

○小間委員

ワイナリーへの補助金は、何年まで続けるのか。

●菊地政策推進室長補佐

3年間経過したあと2年間延長して来年度まで、地方創生交付金を活用して補助する予定です。

○福原委員

ワイナリー関係で、地場産のブドウを使っているといふと、いつ頃地場産のものを使えるようになるのか。

地場産のものを使わないで上ノ国町ワインといっても、説得力がない。

●菊地政策推進室長補佐

今年醸造できる分が収穫できるかは、収穫時期になってみないと

も言えませんが、道南のワイン関係も今盛り上がってきていますので、今までになかったワイン文化を使いながら、上ノ国町をPRするきっかけとして、活用していきたい。

**幼小中高連携教育推進事業費**  
幼小中高連携教育推進事業

○川島委員

上ノ国高校への通学費助成について、江差や厚沢部から来られる方の交通費などの補助はどうなっていますか。

また、上ノ国高校については、私たちのできるところで援助もしながら存続させなければならぬという部分を踏まえて、今後の方向性や展望なども含めて意見をいただきたい。

●笠谷教育委員会事務局長

町内の生徒と同様に、定期代を算定基礎とし8割を補助しています。



上ノ国高等学校

新年度から地域未来留学に参加し、道外の都市圏からも上ノ国高校を希望する生徒の受け入れをする事業を展開する予定で、9年度からの受け入れを目標とし、7年度、8年度については、都市圏の合同説明会へ参加します。

上ノ国高校の存続と、道外からの生徒を受け入れることで、既存の生徒にいい意味での刺激を加え、地域にもいい影響を反映させたいということで、今年度から取り組みます。

# 委員会活動

閉会中の活動の一つとして、各委員会では所管（所掌）事務調査を行っています。その調査事務の結果報告がありましたので概要を掲載します。

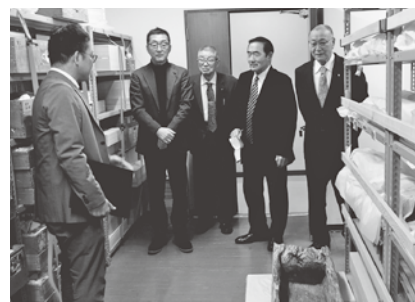
## 総務文教常任委員会

文化財管理施設の管理運営に関すること

（文化財管理施設の管理状況と整備計画について）

調査日 12月18日

本町には、勝山館跡ガイダンス施設、旧笹浪家住宅、上之国館調査整備センターの三つの文化財保存活用施設があります。展示の更新や保管環境の改善が課題となっています。勝山館跡ガイダンス施設と旧笹浪家住宅の米蔵・文庫蔵では公開活用が行われていますが、展示内容が近年の調査成果や多言語化に対応しておらず、外国人や子どもの理解が難しい状況です。また、900点余りの重要文化財が公開されず、廃校を改修した調



出土品の説明を受ける委員

査整備センターでは老朽化や火災リスクが問題視されています。こうした課題を解決するため、町では文化財施設の整備を第6次上ノ国町総合計画に位置付け、令和3年に史跡上之国館跡整備活用基本計画を策定しました。三館のネットワーク拠点と展示・保管機能を備えたミュージアム建設を盛り込み、令和7年度には基本計画の策定を予定しています。委員からは、質の高い施設整備を求める意見が出されており、今後の計画実現によ

り、本町の貴重な歴史文化の発信と地域活性化が期待されます。

## 産業福祉常任委員会

老人福祉施設に関すること

（特別養護老人ホームかみのくに荘の運営状況について）

調査日 2月5日

特別養護老人ホームか

みのくに荘は、社会福祉法人上ノ国福祉会が運営し、昭和58年の開設以来、上ノ国町の高齢者福祉の中核的役割を担ってきました。平成4年に短期入所事業、平成7年に通所介護事業、平成21年に認知症対応型共同生活介護事業を開

始し、多様な福祉サービスを提供しています。当施設の入所定員は50名で、町内から46名、町外から4名が入居しています。原則として要介護3以上の入居基準のため、現在では待機者はほとんどおらず、減少傾向にあります。将来的に急速な人口減により利用者の大幅な減少が予測されており、施設の運営に与える影響は避けられないと考えられます。

令和4年度に、内外装



理事長と施設長から委員へ説明がされた



や電気・機械設備の大規模改修工事を実施し、老朽化の問題は解消に向かいました。しかし、全国的な介護人材不足の影響は本施設にも及んでおり、人材確保が喫緊の課題となっています。

当施設は、40年以上にわたり高齢者福祉の拠点として地域に貢献し、雇用の創出にも寄与してきました。今後も、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護人材の確保・定着を含めた包括的な福祉施策の推進が求められます。



## 総務文教常任委員会

調査報告 1月21日

### 議会広報発行に関する事

2月発行の議会広報については、原案のとおり発行することに決定しました。



## 議会運営委員会

調査報告 2月28日

### 議会の運営と議長の諮問事項

第1回定例会の会期を3月4日から6日の3日間とし、議事日程を決定しました。

また、令和7年度各会計予算については、5日の1日間、予算審査特別委員会を設置し、付託のうえ審査することに決定しました。



## 議会の動き

1月		2月		3月	
15日	檜山広域行政組合 議会第1回臨時会 (江差町)	21日	総務文教常任委員 会日	1日	上ノ国高等学校卒 業式
21日	全員協議会	21日	檜山町村議会議長 会役員会、定例議 長会議(江差町)	4日	第1回定例会(1 日目)
28日	檜山町村議会議長 会役員会、定例議 長会議(江差町)	28日	全員協議会	5日	予算審査特別委員 会6日第1回定例 会(2日目)
		5日	産業福祉常任委員 会	7日	教育・文化・スポ ーツ表彰式
		7日	北海道後期高齢者 医療広域連合議会 第1回広域連合議 会定例会(札幌市)	14日	上ノ国中学校卒業 式日東京かみのく に会総会、懇親会 (東京都)
		13日	産業福祉常任委員 会	24日	江差町・上ノ国町 学校給食組合議会 定例会(江差町)
		13日	北海道町村議会議 員公務災害補償等 組合組合議会定例 会(札幌市)	24日	南部松山衛生処理 組合議会定例会、 全員協議会(江差 町)
		13日	北海道町村議会議 長会理事会(札幌 市)		檜山広域行政組合 議会定例会(江差 町)
27日	全員協議会				
28日	議会運営委員会				